

事務事業名	おひさまのエネルギー利用推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	23 終了
H29作成課等名	環境モデル都市推進課	H29係等名	地球温暖化対策係	H28担当課等名	環境モデル都市推進課	
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			
	施策	57	社会の低炭素化の推進			
目的	対象(誰・何を)	市民		指標名及び単位		28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	太陽光由来のエネルギーの利用を推進することで、域内エネルギー自給率を高めつつ、市域からのCO2排出量を削減する。		飯田市の世帯数(世帯)		37858
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量		飯田市内の電灯契約使用電力量(千kWh):前年度数値		239218
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)		2,671	3,498	2,576
		温室効果ガス削減容量増加(トン/年)		1,793	2,014	1,824
	成果指標	飯田市内の電灯契約使用電力量のうち、太陽エネルギー由来を5%にする(%)		4	5.17	5
定性目標						備考(指標変更など)
事業概要	おひさまのエネルギー推進事業					
	1 地域に賦存する重要な自然エネルギー資源のひとつである太陽エネルギー(電気・熱)の利用を促進し、エネルギーの地産地消を推進。 2 多様な主体の協働による取組みを具現化するため、地域で活動する民間事業者等との公民協働を育みながら、地域の財貨循環に繋がる形で太陽光発電事業を推進。					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 市民向け太陽エネルギー利用機器(太陽光発電・蓄電システム・太陽熱温水器)設置への補助金事業(初期費用0円設置事業実施なし)			1 太陽エネルギー利用機器補助金交付件数(件)		1
	(1) 太陽光発電			(蓄電システムは、太陽光発電との併用申請9件含む)		(1) 212件
	(2) 蓄電システム			2 維持管理出動回数(回)		(2) 21件
	(3) 太陽熱温水器			3 補助金交付金額		(3) 27件
	2 メガソーラーいいだPR施設に係る設備運営及び維持管理			4 買入れ金額		2 17回
3 メガソーラーいいだに係る補助金交付			5 移設箇所数(件)		3 2,903,872円	
4 太陽光市民共同発電事業による電気の買入れ					4 4,974,960円	
5 市民共同発電事業太陽光パネル移設					5 1件	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		26,294	36,086	35,992	0	[28特定財源] (そ)諸収入(太陽光発電収入)
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他		4,979	4,600	4,975		
一般財源		21,315	31,486	31,017		
人件費計(千円)②		9,298	9,298	9,298	0	
正規職員所要時間		2,600	2,600	2,600		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		35,592	45,384	45,290	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	太陽光発電の普及事業を通じて、設置した市民や、様々な民間事業者との協働を実現することができ、CO2削減に効果があった。市民向け補助事業は、新たに太陽光由来の電力を貯める蓄電システム設置への支援を加え、補助制度を見直し、200件超えの目標を持って普及に努めた。昨今の固定価格買取制度の下落影響もある中、新制度もあり、目標件数を上回る結果となった。					
改革改善の考え方	①問題点	太陽光発電の普及は、固定価格買取制度、配電系統のあり方等と密接に関係があり、今後も固定価格買取制度の買取価格激減や電力会社の買取拒否に対する不安などから、太陽光発電の普及率が鈍っている傾向にある。市内太陽光の普及が鈍ることのない工夫を行うことが必要となる。				
	②改革提案	今年度、太陽光発電設備に加え、蓄電システム設置への補助を制度化し実施した。また、年度途中にも更なる告知に努め、設置件数の歯止めに繋がった。当面、現行制度で広く周知することに努め、更なる普及推進を目指す。				